

甲州市交流保養センター事業運営手法検討業務委託仕様書

1. 委託業務名

甲州市交流保養センター事業運営手法検討業務

2. 背景及び目的

甲州市交流保養センター（以下「本施設」という。）は、1998年に建設され、山間の温泉施設として地域住民や大菩薩嶺を訪れた登山者をはじめ観光客等から長年に渡り親しまれてきた。また、本施設では、2007年から指定管理者制度を導入し、サービスの向上や施設の効率的な運営を図ってきた。一方で、建物や設備の老朽化が進むとともに、近年は利用者数も伸び悩み、本施設の管理運営のための本市の財政負担は拡大しており、甲州市公共施設等総合管理計画の下位計画である施設類型別の個別施設計画（令和2年3月策定）では、将来的には民間譲渡の方針を定めている。

本業務は、本施設の現状や利用状況等を分析し、サウンディング型市場調査等により本施設に対する社会的な評価を行い、今後の本施設のあり方について検討を進める。

3. 業務対象施設

名称 甲州市交流保養センター

- ・甲州市交流促進センター
- ・甲州市温泉保養施設「大菩薩の湯」

所在地 山梨県甲州市塩山上小田原730番地1

※施設の詳細については、別紙を参照すること。

4. 履行期間

契約締結日の翌日から令和4年3月18日

5. 業務内容

(1) 現状分析

本施設の現状（利用状況や問題点、課題等）を分析し、整理を行う。また、本施設の特性を整理し、今後の運営の見通しや可能性等についてまとめる。

(2) 施設状況調査

本施設の建物や主な設備の状況や問題点、課題等を調査・分析し、整理を行う。また、現時点での本施設の資産的状态を調査すると共に、今後12年間に必要となる修繕費など施設の更新費用の推計を行う。

(3) 事例調査

効率的な運営を行っている県内外の類似施設（近隣自治体の類似施設を含む）の管理運営方法等を調査して整理し、本施設との比較を行う。

(4) 今後の施設活用方策の検討

(1) から (3) までの結果を踏まえ、今後の本施設利活用の可能性の検討を行う。
なお、本施設の特性を生かした付加価値の創造や新たな事業展開（現状の事業内容、運営形態に拘らず）を検討し、モデル的な管理運営に係るスキーム及びスケジュール案の作成（複数可）を行う。

(5) 民間への譲渡を含めた事業の実現可能性の検討

検討した施設活用方策について、その実現可能性について調査するとともに、実現に向けた課題などを整理する。その際、民間事業者への施設譲渡のほか指定管理者制度、市直営等による手法の比較検討を行う。

(6) 報告書のとりまとめ

(1) から (5) までの内容を取りまとめ、報告書を作成する。

※ (4) 及び (5) については、サウンディング型市場調査を実施すること。調査の内容、調査対象、調査数等については、提案による。

6. 成果品の納品

- (1) 成果報告書 正1部 副2部
- (2) 参考資料（業務上作成した資料、参考文献等を含む） 一式
- (3) 電子データ 一式
- (4) 成果品の所有権（著作権を含む）は、すべて本市に帰属する。

7. その他

- (1) 受託者は本業務遂行にあたっては委託者と十分な協議打合せを行ったうえで、進捗状況を随時報告するものとする。
- (2) 受託者は、本業務において知り得た事項について、漏洩してはならない。また本業務に用いた資料及び成果品等について、委託者の許可なく公表若しくは貸与してはならない。
- (3) 受託者は、本業務の全部又は大部分を一括して第三者に委託し、又は請け負わせることができない。ただし、市長が認めた場合は、本業務の一部を第三者に委託し、又は請け負わせることができる。
- (4) 本仕様書に記載のない事項、または疑義が生じた事項については、協議の上決定する。